

3.11東日本大震災復興支援プロジェクト

大切な —— へ伝えたい「言葉」

Message From Tohoku Project.

**Asobo!kai X CROSSGROUP VOLUNTEERTEAM**

被災された方々の笑顔のために。そして、世界中の人達へ、たくさんの「ありがとう」の言葉を届けるために。

ボランティア団体  
**Asobo!会**

大切な「あなた」へ伝えたい  
「言葉」があります。

—CONTENTS—

01	この冊子を手にして頂いた方へ	15	南三陸町・炊き出しボランティア
03	大切な「ボランティアの皆様」へ	16	気仙沼市・炊き出しボランティア
05	名取市・炊き出しボランティア	17	大切な「           」へ
06	山元町・テラセンについて	19	気仙沼市・側溝の清掃作業
07	大切な「家族」へ	20	東北ボランティア隊アンケート
09	山元町・畑の清掃作業	21	PRAY FOR JAPAN —世界中から届いた祈り—
10	山元町・墓地の清掃作業	25	東日本大震災について
11	大切な「家族」へ②	27	ボランティア団体一覧表
13	大切な「友達」へ	30	あとがき

あなたにも考えてみて欲しい。

大切な誰かへ伝えたい「言葉」



宮城県気仙沼市、名取市、南三陸町で行なったアンケート「大切な〇〇へ伝えたい言葉」

## Message From Tohoku Project とは

Send a message...

この冊子を手にとって頂いてありがとうございます。

このプロジェクトは、東日本大震災の被災者の声を全国に届け、被災地を応援する為のプロジェクトです。より多くの方々に、リアルな声を届け、被災地を応援する活動に役立てばという願いを込めて活動しています。今回、2012年1月6日～9日にかけて被災地を訪れ、炊き出しと清掃活動を行なった際、被災者の方々にアンケートにご協力して頂き、それをもとに冊子を作成致しました。

この冊子には「3つの願い」が込められています。

- ・一人でも多くの方に被災者の方々の大切な「言葉」が届きますように。
- ・被災された方々が一日でも早く安心して暮らせる社会へととなりますように。
- ・東日本大震災をいつまでも風化させないように。

この「3つの願い」を冊子をご覧いただいた皆様に共感いただければ幸いです。

● 大切な「 ボランティアの皆様 」へ……、

Send a message...

十月のこと、今回のこと、本当にありがとうございます。  
大変な時に食事のこと、夜のこと、大変助かりました。

From; 気仙沼市・65歳 女性

● 大切な「大阪のボランティアの皆さま」へ……、

Send a message...

今日は、遠い所から、又、寒い中  
私達の為に来ていただきまして  
ありがとうございました。

今日より、又、前進していきたいと思います。

From; 名取市・51歳 男性

● 大切な「大阪のボランティアの皆さま」へ……、

Send a message...

寒い中ごくろう様です。

大阪の人達ありがとうございます。

From; 68歳 女性

大切な「家族・ボランティア」へ……、

Send a message...

みなさんの暖かい支援で、今は冬で寒いけど  
心はとっても暖かいです。

ありがとう。

From; 南三陸町・41歳 女性





写真：名取市で行われた炊き出しの様子。  
現地の方と交流し「ココロのケア」を目標に催された。  
炊き出しの他、アーティストライブや  
阪神南青少年交流サロンによるバルーンアートショーが披露された。



写真:山元町普門寺 おてら災害ボランティアセンター 通称「テラセン」  
清掃作業は主にテラセンのお手伝いをさせて頂いた。  
被災地での貴重なお話も聴く事ができ、改めてボランティアの重要性を知った。  
「テラセン」についての詳しい情報は、P45ボランティア団体一覧表を参照。



大切な「家族」へ……、

Send a message...

いつもたくさんの笑顔をありがとう♥

From; 11歳 女性

大切な「家族」へ……、

Send a message...

私の事を一番想ってくれて

ありがとう。

大切な「家族」へ……、

Send a message...

いつも私を支えてくれて

From; 南三陸町・16歳 女性

ありがとう。

From; 南三陸町・40歳 女性

大切な「家族」へ……、

Send a message...

あの恐ろしい津波が  
ばあちゃんをのみこみましたが、  
より一層、家族の絆が強くなりました。  
ばあちゃん  
ありがとう。

From; 南三陸町・48歳 女性

大切な「家族」へ……、

Send a message...

健康第一でいましょう。

はやく、みんなと一緒にくらしたいね！

From; 南三陸町 女性

大切な「家族たち」へ……、

Send a message...

言葉では、足りないかもしれないけど

ありがとう。 ありがとう。

From; 南三陸町・36歳 男性





写真：畑に混入した瓦礫の撤去作業

再び畑を usable するように丁寧に瓦礫をスコップで掘り起こす。

この他に住宅の瓦礫撤去作業を手伝わせて頂いた。

津波の恐ろしさを物語るように住宅の窓や壁には、はっきりと津波の跡が刻まれていた。



写真：墓地の清掃作業の様子。

墓石は倒れ、割れ、道路を塞ぎ、一般家屋の瓦礫も大量に流れ込んでいた。

移動用のトラックにキーを挿したまま、

「もしも津波が来た場合は、道具も荷物も捨ててこの車で逃げて下さい。」

と言われた。

震災から10ヶ月が経っても、まだまだ危険な区域があり、私達はそこへ足を踏み込んでいるのだ。

東北ボランティア隊 隊長の日記より

大切な「 妻 」へ……、

Send a message...

いつもありがとう。

From; 南三陸町・50歳 男性

大切な「 まま 」へ……、

Send a message...

これからも

がんばろうね。

大切な「 むすこ 」へ……、

Send a message...

From; 気仙沼市・3歳 男性

天国では好きな事やっていますか。

大変な天災があったけど

かあちゃん、なんとか生きていくよ…

From; 53歳 女性

大切な「 むすこ 」へ……、

Send a message...

これからも、よろしくね！！

愛する息子へ

From; 南三陸町・70歳 女性

大切な「 だんなと子どもたち 」へ……、

Send a message...

いつでも私の生きる希望のあなた達へ。

ありがとう♥

From; 南三陸町・36歳 女性

大切な「子ども達」へ……、

Send a message...

今回の震災で

苦労した事、努力した事

みんなで協力して乗り越えた事を

忘れずにこれからの人生に

役立てて下さい。

From: 気仙沼市・42歳女性



大切な「友だち」へ……、

Send a message...

いつもいっしょにいてくれて…

ありがとうね！

From; 12歳 女性

大切な「友人」へ……、

Send a message...

これからもお互い支え合って、

がんばりましょう！！

From; 気仙沼市・14歳 女性

大切な「剣道仲間」へ……、

Send a message...

いつもたのしく剣道ができるのがたのしいです。

いつもありがとう！

From; 気仙沼市・12歳 女性

大切な「とも」へ……、

Send a message...

転校した学校、帰ってきた学校

それぞれの友へ

ありがとう！！

From; 南三陸町・13歳 女性

大切な「3人の友達」へ……、

Send a message...

Mちゃん、F君、Mはあの大きな津波にのみこまれてしまったね……。

3人が亡くなった今、みんなはがんばってるよ！！

もう、一緒にいれないけど……

心はずっと一緒。

もう少しまってて。

3人とまた、会えた時は

思い出話をいっぱいするから。

From; 気仙沼市・15歳 女性





写真: <sup>みなみさんりくちやう</sup>南三陸町で行われた炊き出しの様子。

フリーマーケット、もちつき、アーティストライブ、バルーンアートなど現地の方々と交流しながら炊き出しを <sup>ふるま</sup>振舞った。



写真: 気仙沼市で行われた炊き出しの様子

たこ焼き、お好み焼き、焼きそば、ビアガーデン、ビンゴゲームなど振舞った。

現地の方々と交流しながらの炊き出しはたくさんの笑顔に出会う事が出来た。



● 大切な「 人 」へ……、

Send a message...

ありがとうございました。

From; 9歳 男性

● 大切な「 世界中の人達 」へ……、

Send a message...

頑張って幸せに……

From; 仙台市 女性

● 大切な「 \_\_\_\_\_ 」へ……、

Send a message...

復興の先は、まだまだ遠いですが  
力を合わせて頑張りましょう。

From; 南三陸町 男性

● 大切な「 世界中の人 」へ……、

Send a message...

本当に、本当にありがとう。

忘れません。

From; 南三陸町・46歳 女性

大切な「支援者の皆様」へ……、

Send a message...

何もない私達にいつもあたたかい支援を  
本当にありがとうございます。  
おかげ様で生きる気力が出来ます。

From; 45歳 女性



写真：海岸沿い道路側溝<sup>そっごう</sup>の清掃作業の様子。  
 側溝に泥が詰まり、乾燥して固まってしまったため、排水をする事が出来ない。  
 スコップで固まった泥を掘り起こしてゆく地道な作業。  
 重労働だが、こうした清掃作業が少しずつ復興へと確実に繋がっていく。  
 休憩中に被災者の方から「お疲れ様」と差し入れを頂いた。  
 苦しい中でも人を想いやる心に触れた。



**CROSS GROUP**  
東北ボランティア隊へ  
聞いてミタ!

このアンケートについて

東北ボランティア隊の皆さまにも東北ボランティア隊アンケートというアンケートに答えて頂きました。

現在もこれからも東北を支援されてゆく皆さんが、被災地で何を思い感じたのか。そして、今、被災地で何が必要かをあなたも考えてみて下さい。

01, ボランティア参加者の年齢

● 10代 2名    ● 20代 22名    ● 30代 4名    ● 40代 5名

02, 被災地の現状についてどう感じたか?

\* 年齢別に分けて抜粋したものを記載。

10代...

- ・仮設住宅に住んでいる方が交流が少なくなってきていてさみしいとおっしゃっていた。
- ・想像以上に復興作業が遅れていると感じた。

30代...

- ・テレビで報道される事が全てではなく、復興はまだまだだと感じた。
- ・まだまだ厳しい状況にあり物資の支援及びメンタル面でのケアが必要だと感じた。

20代...

- ・笑顔が多かった。逆に元気をもらった。
- ・まだまだニーズはあると思うのでボランティアは必要だと感じた。

40代...

- ・あまり状況は変わっていないが、被災者のニーズが変わってきている。ニーズを発信する事、受け止める事、行動することが、今後も重要だと思う。

03, 今後同じような震災が起きた時どのようなボランティア必要か?

\* 年齢別に分けて抜粋したものを記載。

10代...

- ・瓦礫撤去はもちろんですが、今回のような交流がメインのボランティアも必要だと感じました。
- ・地域の団結を深める祭りやイベントが必要だと思います。

30代...

- ・ボランティアがすべてするのではなく、現地の方と一緒に頑張っていこうという形でのボランティアが必要だと思う。
- ・時期に応じて様々なボランティアが必要。

20代...

- ・現地の方と交流しながらコミュニケーションを深めていくボランティアが必要。
- ・すぐに支援できる体制とか、防災に関する知識や仕組みを全国規模で整えて行く事が大事だと思う。

40代...

- ・ボランティア以前にそれをさばく、自治体や行政、ボラセンの教育、意識改革が必要です。
- ・時期によって違うのでなんともいえない。



上)ウクライナ  
中)中国  
下)パキスタン

上)オーストラリア  
中)ブルガリア  
下)ニカラグア

写真提供: 外務省

オーストラリア: 3月25日、Merici College Schoolが、風船を飛ばして、日本への希望と復興を祈った。  
ブルガリア: プロヴディフ市アレコ・コンスタンティノフ学校の生徒が、手型をあしらったカード600枚を日本大使館に届けた。



韓国外交通商部提供

上)インド支援隊

中)ロシア救援チーム

下)韓国救助隊

上)トルコ救援隊

中)米国レスキューチーム

下)南アフリカ救援隊

写真提供:外務省

アメリカ:「Operation Tomodachi」トモダチ作戦と命名され、最大時では将兵約2万人、<sup>かんせん</sup>艦船約20隻、<sup>せき</sup>航空機約160機が投入された。  
ロシア:被災地でのロシア救援チームの活躍。



大切な「日本国民の皆様」へ……、

Send a message... 《3月23日 避難所である渡波小学校でのスピーチより》

自然は貴重な生命、資産を破壊することはできても、  
人々の精神までも破壊することはできません。  
私は今日ここで人間性の最高のかたちを目にしました。  
米国国民の思いと祈りは皆さまと共にあります。  
私たちはここに皆さまの力になるためにいます。  
今日も明日も、そして何カ月、何年もの将来にわたり、  
日本で役に立ちたいと思っております。  
ここにいらっしゃる皆さまはこの悲惨な災害から  
必ず復興すると信じてやみません。

From; ジョン ヴィクター ルース駐日米大使

\* 外務省HPより転載

平成23年5月2日現在、254の国・地域・国際機関から日本へお見舞いや支援表明が届いた。\*一部省略しております。

- 【アジア】 アゼルバイジャン、アフガニスタン、アルメニア、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、モルティブ、モンゴル、ヨルダン、ブータン、ブルネイ、ブルンジ、ベトナム、ボツワナ、ニジェール、ネパール、パーレーン、パキスタン、バングラディッシュ、東ティモール、フィリピン、ソマリア、タイ、タジキスタン、タンザニア、中国、ドーゴ、トルクメニスタン
- 【ヨーロッパ】 アイランド、アイルランド、アルバニア、イタリア、ウクライナ、ポルトガル、マケドニア、マルタ、モナコ、モルドバ、モンテネグロ、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベラルーシ、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポーランド、ポルトガル、ノルウェー、バチカン、ハンガリー、セルビア、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、チェコ、デンマーク、トルコ、スペイン
- 【アフリカ】 アルジェリア、アンゴラ、ウガンダ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、モザンビーク、モーリシャス、モーリタニア、モロッコ、ブルキナファソ、ベナン、チャド、チュニジア、ザンビア、ガーナ、シリア、シンガポール、スーダン、スワジランド、赤道ギニア、セーシェル、セネガル、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ(共)、コンゴ(民)、エジプト
- 【オセアニア】 マーシャル共和国、ミクロネシア、ナウル、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、ソロモン、ツバル、トンガ、サモア、キリバス、クック諸島、オーストラリア、サモア
- 【北アメリカ】 アンティグア・バーブーダ、ホンジュラス、メキシコ、ペルー、ボリビア、パラグアイ、チリ、スリナム、コロンビア、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ
- 【南アメリカ】 アルゼンチン、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、パラグアイ、チリ、スリナム、コロンビア、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ
- 【国際機関】 欧州連合(EU)、アフリカ連合(AU)、アラブ・マグレブ連合(AMU)、東南アジア諸国連合(ASEAN)、中米統合機関(SICA)、赤十字国際委員会(ICRC)、国際労働機関(ILO)、石油輸出国機構(OPEC)、国際エネルギー機関(IEA)、経済協力開発機構(OECD)、国連ボランティア計画(UNV)、国連世界食糧計画(WFP)、世界保健機関(WHO)

大切な「世界中の方々」へ……、

Send a message...

私達はおかげさまで、皆様に支えられながら  
生きています。

本当に生きてて良かったと思えるくらい  
人の優しさがありがたかったです。

この震災でたくさん大切な人達とめぐり逢えました。  
ありがとうございます。

From; 南三陸町・42歳 女性

2011年(平成23年)3月11日 14時46分18秒 —

# 東日本大震災発生

この震災は日本における観測史上最大の規模、マグニチュード9.0を記録。

この地震により場所によっては波高10m以上、最大遡上高40.5mにも登る大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。

死者数15,845人 行方不明者数3,380人 建物全壊128,527戸ともなる大きな被害となった。

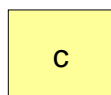
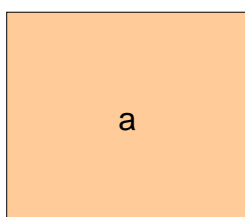
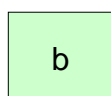
さらに、地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、全電源を損失し、原子炉が冷却できなくなり、大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原発事故に発展した。

これにより、原発のある浜通り地域を中心に、周辺一帯の福島県住民は長期の避難を強いられている。

福島県産や近県の農産物や海山物は原発からの放射能による影響を受け、農業及び漁業は決定的なダメージを受けた。さらに今後も東日本産の農産物、海山物にも影響が出てくる可能性は高い。

震災と原発による放射能は被災者、さらには日本国民の生活に多大な影響を与える事となってしまった。

現在でも被災地の復興作業は進んでいるが、福島原発事故の影響もあり、復興までの道程は険しいだろう。



写真：現在の被災地の様子(H24年1月撮影)

a: 津波と地震の影響なのか、建物の構造が剥き出しのまま取り残されている。

b: 津波の影響により、路地に打ち上げられた船。

c: ひどい状態で取り残されている家。

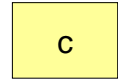
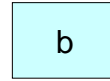
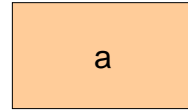
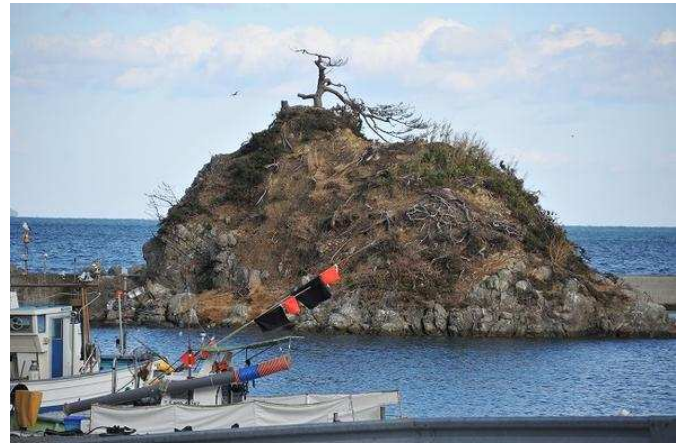


写真: 現在の被災地の様子(H24年1月撮影)  
 a: 壊れた車やトラクター。津波の影響が滅茶苦茶に壊れている。  
 b: 取り残された建物。今はもう誰も住んでいないのだろうか。  
 c: 津波の影響により、草、木が枯れ落ち、剥げてしまった孤島。



### 東日本大震災に関する情報(H24年1月現在)

\* 東北3件とは(宮城県、岩手県、福島県を示す。)

● **死者**(警察庁調べ)

全 国… 15,845人  
 うち東北3県… 15,779人

● **行方不明者**(警察庁調べ)

全 国… 3,380人  
 うち東北3県… 3,376人

● **建物被害**(警察庁調べ)

全 国… 128,527戸(全壊) 24,287戸(半壊)  
 うち東北3県… 124,029戸(全壊) 205,983戸(半壊)

● **避難所にいる避難者**(東日本大震災復興対策本部調べ)

全 国… 613人  
 うち東北3県… 0人

● **住宅等に入居済みのもの**(東日本大震災復興対策本部調べ)

全 国… 319,801人  
 うち東北3県… 264,703人

参照: 東日本大震災復興支援本部HP、警察庁HPより

・被災地の復興状況や被災者の安否確認などは警察庁HP、東日本大震災復興対策本部HPなどで、随時更新されている為、最新の情報を確認する事が出来る。

Volunteer

KIZUNA TUNAGU

Project.

絆

-KIZUNA-

—これはボランティアの“絆”をつなぐプロジェクト—

このプロジェクトはボランティア団体同士、又は、個人の“絆”をつなぐためのプロジェクトです。様々なボランティア団体同士の“絆”が深まればもっと良い支援やボランティアが出来るはず。少しでも気になる団体があれば連絡、又は、参加してみてください。

ボランティア団体同士又は、初めてボランティアへ参加する方も、新しい“絆”が生まれるはずです。

【見方】

①大阪☆シャボン玉

②毎回6名ほど

③大阪市内で活動(主に公園)

④活動場所による。

⑤シャボン玉プロジェクト

大阪シャボン玉はシャボン玉で楽しく遊びながら“癒やし”を不特定多数の人へ提供するというボランティアです。大学生から社会人まで楽しく活動しています。持ち物はマイシャボン玉だけでOKです！シャボン玉を使った新しいコミュニティの形をつくります。シャボン玉を使って癒しを提供してみませんか？一緒に楽しく活動しましょう！

⑥申し込み方法

mixiコミュニティ「大阪☆シャボン玉」で検索!



①ボランティア団体名

②所属人数  
(活動参加人数)

③活動拠点の住所

④アクセス

⑤主な活動を紹介

⑥連絡先、又は、申し込み方法

写真

【東北からの紹介】

「テラセン」

おてら災害ボランティアセンター

宮城県亘理郡山元町山寺字浜163 普門寺内

山元町おてら災害ボランティアセンター、通称「テラセン」と申します。

山元町は、常磐線より海側は立ち入り禁止区域となっています。

社協のボランティアも派遣したくもできません。

しかし、

住民の方は、手伝いの来ない中で、ひとり当てもなくスコップで泥だしをしています。

そのすぐ線路を挟んだ脇では、沢山のボランティアがいるにも関わらず。

もう「俺達は捨てられたんだ」なんて思わせないと、有志のボランティア、

被災住民が集まり、沿岸区域専門のボランティアセンターを立ち上げました。

事情が事情の為、どこのご支援も頂けません。

趣旨に ご賛同頂ける方は、是非ご支援をお願いします。

失われた時間を取り戻すために。



☆詳しい情報などはこちらから「テラセン」HP QRコード



ボランティアを希望される方、資材などをご提供いただける方、ご連絡をお待ちしています。下記アドレスまでご連絡ください。

【携帯アドレス】

Tijfujimappa@docomo.ne.jp

【PCアドレス】

U6676ws659t@asahi-net.or.jp

注：毎週木曜日は定休日とさせて頂いております。

## ①CRSS GROUPボランティア隊

②40名(活動により変動)

③大阪市中央区谷町9-4-5 FREAKOUT BF

④地下鉄谷町9丁目駅下車 徒歩5分

⑤活動紹介(東北ボランティア隊)

3ヶ月に一度、東日本大震災の被災地で清掃作業や炊き出しイベントなどを催しています。

大阪からは遠いと言いたい気持ちがあるのに諦めている人もいるかと思います。

CROSS GROUPではバスを用意しています。この機会に是非ご参加下さい。

同じ時代に生きて同じ国を作ってきた仲間達の窮地を一緒に支援していきましょう！



CROSS GROUPボランティア隊  
申し込みフォームQRコード

⑥申し込み方法

QRコードから応募フォームより申し込んで頂くか、又は、mixiコミュニティ「東北大震災ボランティア隊」から応募可能。



## ①阪神南青少年交流サロン

②26名

③尼崎市東難波町5-21-8

④阪神電鉄尼崎駅

⑤活動紹介

ごみ拾いをツールに交流をする、ちょぼら☆ごみ拾い!!や、特技や趣味を活かした活動を行う、遊びの技!!活かし隊!!  
地域交流しながら活動する、地域活動!!コラボラ!!があり、遊びの技!!活かし隊!!とコラボラ!!をかねた活動である  
ハッピーバルーンプロジェクトでは、Make a Change Dayから優秀賞を頂きました。

⑥連絡先

TEL:06-6481-4634 FAX:06-6482-0579



①ボランティア団体名

- ②所属人数  
(活動参加人数)
- ③活動拠点の住所
- ④アクセス
- ⑤主な活動を紹介

写 真

⑥連絡先、又は、申し込み方法

①夢空(ゆめそら)

- ②会員数37名
- ③大阪近郊
- ④活動場所により異なる。
- ⑤活動紹介



私たち夢空は、児童養護施設(私情により、家族と暮らせない子どもたちが入所している施設)にて、月1回(主に第3日曜日)学習指導及び遊びを通して関わっています。

遊びでは、簡単なゲームから実験、工場見学、将来についての話などメンバーから選出した各月のリーダーが企画した遊びを通して、子どもたちに「将来について妥協せず、広い視野をもってもらうこと」を願って活動しています。

⑥連絡先

【mail】m.y-s.s2.ef@ezweb.ne.jp (代表:古川真里)

①Earth Village

- ②参加人数30名ほど(アラプロ)
- ③大阪府大阪市天王寺区南河堀町  
9-38 天王寺タウンハウス1F
- ④JR大阪環状線・大阪市営御堂筋線  
大阪市営谷町線天王寺駅 徒歩5分
- ⑤活動紹介(アライメントプロジェクト)



Earth Villageは「教育」と「奉仕」を通して「家族文化」を広めていこうとする団体です。アラプロでは大阪環状線清掃一周プロジェクトを通して、その実践をしています。

家族文化とは??

家族のような関係を築き、ボランティアを特別なことではなく「当たり前」にしていこうです。

⑥連絡先

【mail】alignment\_p@yahoo.co.jp(アライメントプロジェクト)

【mixi】http://mixi.jp/view\_community.pl?id=5209733

①はっPターン☆

- ②14名
- ③神戸市内
- ④活動場所により異なる。
- ⑤活動紹介



神戸のまちを中心に、大学生や社会人が一緒になって活動しているボランティアサークルです!

まちの美化を呼びかけながらのごみ拾いや、子ども達といろんな遊びをしながら楽しむ児童館での活動などを毎月定期的に行っています。

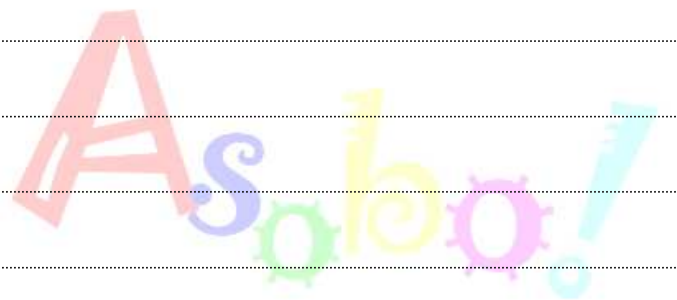
ボランティアをしてみたい!興味がある!という方、みんなでわいわい楽しくボランティアしてみませんか?!

お気軽にご連絡ください(\*^^\*)!

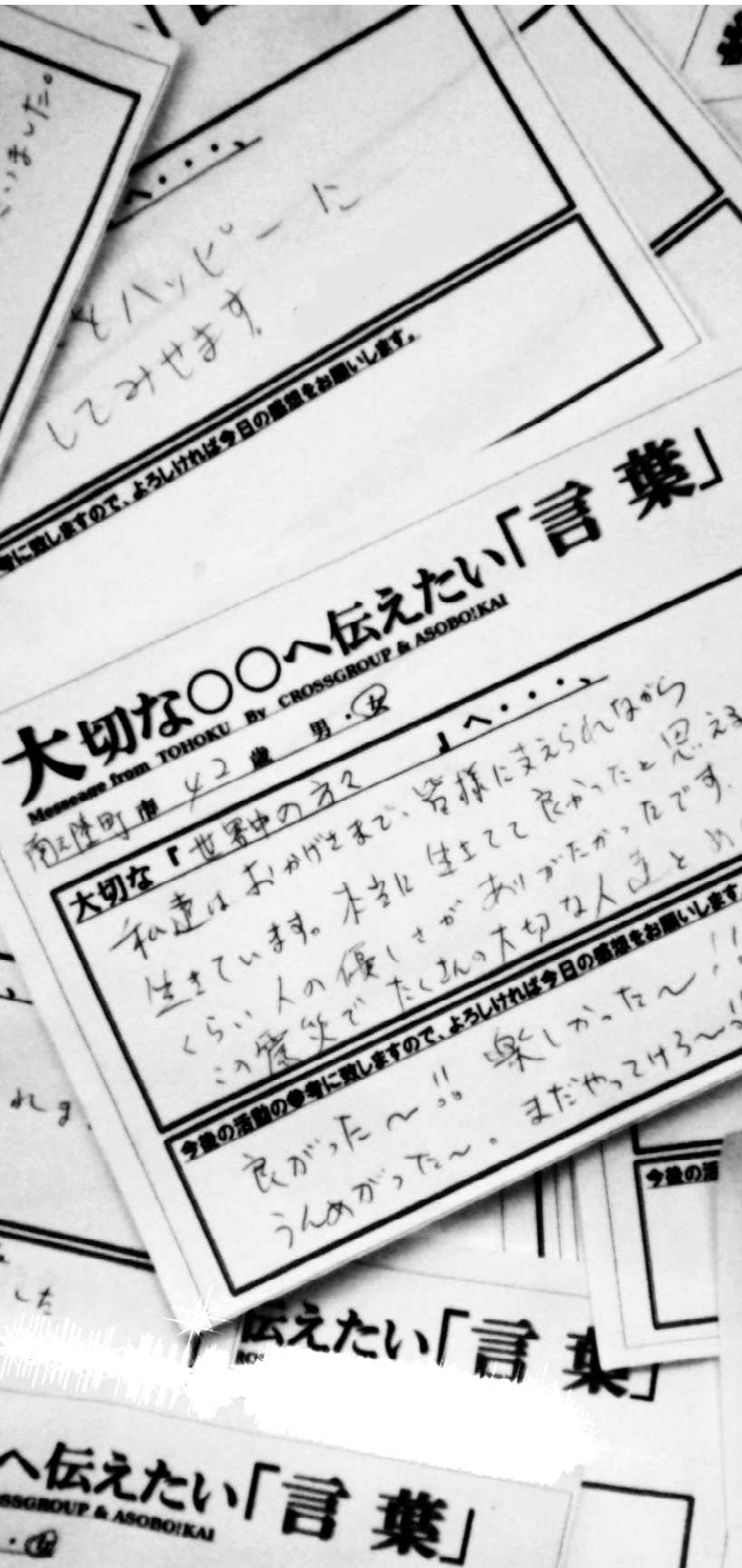
⑥連絡先

【mail】ha\_ppy\_tan@hotmail.com

memo



## -あとがき-



この冊子を最後まで読んで頂いて本当にありがとうございました。今回のアンケートがなぜ、「大切な——へ伝えたい言葉」なのか。それは被災地の方々が、「今どんな想いで過ごしているのか」を言葉で伝える事で、「そこにどんな想いがあるのか」を自分で感じとってもらう為です。

あまりまえにある住む場所や街並み。

あたりまえにいる家族や友達や恋人。

それを突然失ったなら自分ならいったい何が必要だろう？

それを皆で考えてもらうために

あえて「情報」ではなく「言葉」のアンケートにしました。

そして、もう一つ。

もしも、今大切な人を亡くしたり失いかけたら、

あなたは後悔しませんか？

ちゃんと気持ちを伝えられていますか？

この冊子を読んだ人達が、

大切な人を、さらに大切に想い、

沢山の「絆」が深まれば良いと思います。

そして、

その幸せのほんの一部を誰かに分けてあげる事で笑顔が生まれ

その輪が広がることで、世界中の一人ひとりの絆が深まれば、

被災地の復興に繋がっていくと、心から信じています。

最後になりましたが、

被災地復興支援活動に同行させて頂き、

資料提供及びアンケート集計にご協力頂いた

クロスグループ東北ボランティア隊の皆様。

冊子の作成、及び配布にご協力頂いた

阪神南青少年交流サロンの皆様。

我々のボランティア活動を受け入れて頂いた

被災地各施設職員の皆様。

楽しい時間を一緒に過ごして下さい

アンケートにも快く協力して頂いた被災地の皆様。

そして、この冊子を最後まで読んで頂いた読者の皆様へ。

この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

Asobo!会 一同





尼崎市社会福祉協議会  
ボランティアセンター登録団体  
**ボランティア団体 Asobo! 会**

**【活動紹介】**

2011.2.19発足。  
もっと色々な人にボランティアに参加して欲しい。  
少しでもボランティアに興味を持ってもらいたい。  
そんな想いから、20～30代を中心に、誰でも気軽に遊び感覚で  
参加できるボランティア活動を行っています。  
他の団体とコラボしたり、ボランティアがやりたい人のコーディネート、  
お手伝いなんかもしてます★  
発足直後に震災が起きたが、その時の募金活動を通じて絆が広まったので、  
災害支援活動にも積極的に参加しています。

**【連絡先】**

Mail: v.asobokai@gmail.com Tel: 08053385380  
HP: http://asobokai.web.fc2.com

3.11東北大震災復興支援プロジェクト

大切な——へ伝えたい「言葉」

Message From Tohoku Project

著者…………… ボランティア団体 Asobo! 会

発行者…………… CROSS GROUPボランティア隊  
ボランティア団体Asobo! 会

製作協力…………… CROSS GROUPボランティア隊  
阪神南青少年交流サロン

資料提供…………… CROSS GROUPボランティア隊  
おてら災害ボランティアセンター「テラセン」  
外務省

冊子デザイン…………… みずもと ひかる(Asobo! 会)

Special Thanks…………… 気仙沼市、南三陸町、名取市の皆様、おてら災害ボランティアセンターの皆様、東北までバスを出して頂いたバス会社の運転手の方々、  
みちさん、うおりゃーさん、イラストわんパグ

そして、この冊子を手にとり頂き、最後まで読んで頂いたあなた☆

この度の活動にも参加され、これまで大変お世話になっていた樋口徳一さん(33)が、急性脳炎で2/8にこの世を去りました。

私たち自身も大切な仲間を失い、本当の意味で大切な人を失うという悲しみを改めて知りました。

それでも、樋口さんが繋いでくれたこの「絆」をなくさないように、大切にしながら前向きに生きていきます。

**幸せの種をたくさんの人に撒いてくれてありがとう。ぽんたさん。安らかに眠り下さい。**

この本書のお問い合わせは、ボランティア団体Asobo! 会までお願い致します。  
本書には写真、団体情報、連絡先など個人に関わる情報も掲載しております。  
本書の悪質な目的での使用は絶対にお控え下さい。  
この本書が正しい使い方をされ、多くの方へ被災地の大切な言葉が届くことを願っています。

# 皆様の心暖かい支援が必要です。

日本で暮らしていると平和で当たり前、物があって当たり前になりがちですが

世界中で困っている人はたくさんいます。

現実にも目を向けてみんなで集まって支え合う

人が人を思いやる熱い心は可能性を無限大に秘めています。

現在までで東北大震災ボランティア参加人数は、

40万人と神戸の震災の1/3くらいです。

しかし震災の被害はすでに数十倍です。

現地では今も多くの方が苦しんでいるのに、

国は相変わらずの対応の遅れが問題になっています。

被災地ではまだ、皆様の心暖かい支援が必要です。

支援金、支援物資など少しでも構いませんので

宜しくお願いします。

CRSS GROUP オーナー  
中村 智

## 支援金振込講座

三菱東京UFJ銀行 東大阪支店 (普通)99027 クロスグループ

\* 支援金を頂いた方には感謝状を送付していますので、下記アドレスへメールを頂けるとありがたいです。

【E-mail】 [satoshi@cross-girls.com](mailto:satoshi@cross-girls.com)

## 支援物資宛先

大阪府大阪市中央区谷町9-4-5 FREAKOUT



**CROSS GROUPボランティア隊の募集も行なっています。**

一緒にボランティアをする仲間も募集しています。ボランティア隊への参加は無料です。

CROSS GROUPボランティア隊について、詳しくは本書28ページをご参照ください。



CROSS GROUPボランティア隊  
申し込みフォームQRコード



東北へボランティアへ行つた。  
 たくさんの笑顔に出会えた。  
 日本はこんなにも強くて優しい笑顔に  
 あふれている。

